

事件やできごとがおこった年の確認です。

西暦	事件・ことがら	西暦	事件・ことがら
鎌倉 南北朝・室町	(1) 鎌倉の幕府にとどめをいざさん 後醍醐天皇が鎌倉幕府を滅亡させた。	(5) 正長は徳政勝ち取り石に焼く 近江国の正長の土一揆。	
	(2) 後醍醐は、天皇復活いざ見んしゃい 後醍醐天皇が建武の新政を始める。	(6) 義政さん、後継ぎ指名は一人にしろな 足利義政の後継者争いから応仁の乱。	
	(3) 尊氏が後醍醐の一味さっぱり退治した 足利尊氏が征夷大將軍になる。	(7) 闘志はいっぱい、山城一揆 山城の国一揆がおきる。	
	(4) 南朝は悲惨苦痛で合一へ 足利義満が南北朝を合一する。	(8) 宗教の意志やや強し、一向一揆 加賀国で一向一揆がおきる。	

南北朝時代



(1…年) 足利尊氏が京都の(9…役所名)を攻め、(10…人名)が鎌倉を攻めて、鎌倉幕府を滅ぼしています。
 (9)とは承久の乱のあとに執権の(11…人名)が朝廷を監視するためにおいた役所のことです。
 (2)年、後醍醐天皇が(12…?の新政)を始めますが、わずか2年あまりで失敗しています。1335年、足利尊氏が天皇方についた楠木正成や(10…人名)を破っています。1336年、足利尊氏が光明天皇をたてて京都に北朝を、後醍醐天皇が奈良県の(13…地名)に南朝をつくり、この内乱は約(14)年も続きました。

○下の資料は二条川原の落書(落書き)で、後醍醐天皇が行った建武の新政での政治の混乱を批判したものです。

このごろ都ではやっているものは、夜討ち、強盗、にせの天皇の命命書、とらわれ人や急使の早馬、理由のないさわぎである。・・・成り上がり者が、なれない公家の身なりで御所に入出入りするのほめずらしく、おかしなものだ。

この資料のにせの天皇の命命書は、なぜ出たのかを説明しなさい。…天皇が権力を一人でにぎろうとするあまりに(15…?の?)が滞り、正式の書類を待ちきれない人によって偽の命令書が出された。
 ○建武の新政が失敗した理由を「天皇の政治は」という書き出しで答えなさい。…天皇の政治は(16…?や?)の利益を優先する政治で、鎌倉幕府を倒したほうびが少なく、(17…?の?)を買ったため。
 また、建武の新政には農民たちも不満をもちました。その理由を答えなさい。…天皇の住まいをつくるための新たな(18)を取り立てたため。

室町時代

(3)年、足利尊氏が(19…役職名)になりました。鎌倉幕府とのちがいは、將軍の下に(20…漢字で)という役職をおいですっきりとした仕組みになったところです。しかし、世の中の騒乱は続き、(21…役職名)が任命された国を自分の国のようにして支配して勢力をのばしていきます。

1368年に(22…人名を漢字で)が第3代將軍になり、1378年に京都の室町に幕府を移しています。
 中国では元が滅んで(23…王朝名)がおこり、朝鮮半島では高麗が滅んで(24…国名)がおこっています。

(4)年に、3代將軍が南北朝を合一し、(23)と貿易を始めます。



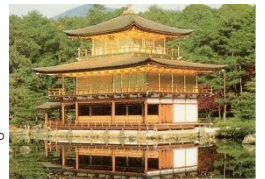
(23)が朝鮮や中国を荒らしていた日本人の海賊の(25…漢字)をとりしまり、国交を開くように求めてきたためです。このとき、この将軍は中国の皇帝から日本の国王であることを認められた証の(26)を授けられています。



日本の準皇后(太皇太后・皇太后・皇后に準ずる)であるAわたしが、手紙を明の皇帝陛下に差し上げます。日本は国が始まって以来、中国にあいさつの使者を送らなかったことはありませんでした。わたしは国政をつかさどり、国内の平和を保っています。そこで、B昔からのしきたりに従って、使いの僧に商人を同行させ、友好関係を結ぶため、土産物を献上いたします。

上の資料にあるAの人物とは3代将軍のことです。また、Bを守らなかった人物に(27…漢字で)がいます。こうして、3代将軍は日本から明に買物をもっていく形での(28…朝貢貿易の別名)貿易を始めます。(28)とは、明が日本の海賊と貿易船とを区別するために使わせた合い札のことで、この貿易は日明貿易ともいいます。そして、右上の絵はこの貿易に使われた(29…?船)です。船の帆は(30…材料名)でできているため、雨にぬれると重くなって転覆しやすくなり、航海はとても危険なものでした。室町時代の終わりごろからは帆の材料が(31)にかわり、安全になって輸送量も増えています。また、朝鮮半島にあった国も日本に海賊の取りしまりを求めてきて、日本と正式な貿易が行われるようになっていきます。このころ、この国では(32…カタカナ)という文字がつけられています。

この将軍が建てた豪華な屋敷は(33…?の?)とよばれ、このときの文化を(34…?文化)といい、その代表が(35…右の建物)です。あるじ(主人)の死後は(36…ひらがな可)という寺になっています。



銅 硫黄 陶磁器 絹織物 木綿 おうぎ 銅銭 人參 漆器

上の貿易品のなかで、日本から輸出したものが(37…数字)つあり、明から輸入したものは(38…数字)つ、朝鮮から輸入したものが(39…数字)つあります。硫黄は(40)の原料で、人參は(41)として使っています。右はこの時代に広く使われた明銭で、今の漢字で書くと(42)となります。



(5…年)、今の(43)県の近江国で(44…?の?)がおきます。この年は凶作で疫病もはやり、民衆は生活に苦しんでいました。そのため、この国の馬借や農民たちが(45…借金を返さなくてよいという命令)を要求した反乱がおきたのです。



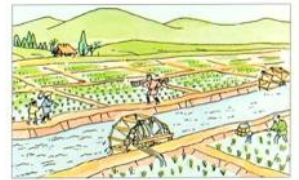
1429年、尚巴志が(46)王国をつくり、この国の船は明銭のほか東南アジアの象牙や味付けに使う香料などを積んで、港町として栄えた大阪府の(47…港町)や福岡県の(48…港町)にやってきました。鎌倉時代からの定期市は、この時代には月に(49)回も開かれるようになっていきます。右は馬を使って物資を運ぶ運送業者の(50)です。また、問丸から発達した卸売業の(51)が交通の要地にでき、人口が多い京都や奈良では、品物を保管しておくための土蔵をそなえた



(52…今の質屋にあたる)や、酒屋が高い利子で庶民に金を貸して富をたくわえるようになっていきます。また、有名な寺社を中心に発達した町が(53…?町)です。善光寺の(54…都市名)市などが知られています。

稲の裏作に麦をつくる(55…農法)はこの時代に各地に広まっています。

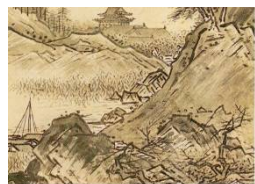
稲も品種改良が進み、早くに実をつける(56…ひらがな)や比較的遅くに実がなる(57…ひらがな)などの品種がつくられるようになりました。水車で水を上げるなどのかんがいのやり方が発達したことや、灰や(58…ひらがな可)、綿の実やえごまから油をとったあとの(59…ひらがな可)などのいろいろな肥料を使うことで農業の生産が飛躍的に向上し、各地で特産物ができています。それを語群から選び記号で答えなさい。



愛知県三河の(60) 京都府宇治の(61) 和歌山県の(62) 山梨県の(63) 京都府西陣の(64) 岐阜県美濃の(65)

- アぶどう イ茶 ウみかん エりんご オサトウキビ カ綿花 キ絹織物 ク和紙 ケ有田焼

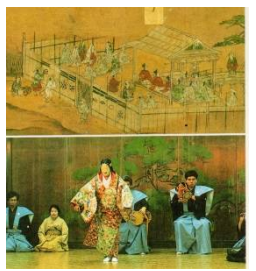
1449年に(1…人名)が第8代将軍になったあと、将軍の後継者争いから、(6…前頁の年)に応仁の乱がおこります。この乱は(2)年間も続きました。その原因と言われてきたのが将軍の妻の(3…人名)です。右はこの乱のあとに、8代将軍が京都の(4…地名)に建てた別荘で、(4)文化の代表の(5…建物名)です。今日の和風建築のもとになる建築様式の(6…漢字で)が使われています。将軍の死後は(7…ひらがな可)という寺になっています。



左は明に渡った僧の(8…人名)が描いた「山水長巻」という水墨画です。

3代将軍の保護をうけて、父の(9)とともに能楽を大成した人物が(10)です。また、能楽の幕の間に演じられ、社会を風刺した内容の(11)は、庶民にも分かりやすくて喜ばれています。

また、この時代は武家と公家の文化が民衆に広まった時代です。その原因のひとつに応仁の乱があります。それは、応仁の乱を避けた(12…?や?)が地方の有力者をたよって都を下つたためです。



(7…前頁の年)、今の京都の(13…昔の国名)の国人が(13)の国一揆をおこします。この一揆は農民と団結した国人が、守護を追い出して8年間の自治を行ったものです。

(8…前頁の年)、今の石川県の加賀の国で(14…?宗)の信者たちが中心になって一揆をおこしています。守護を滅ぼし、信者たちが(15)年間も加賀の国を支配したものです。(14)とは浄土真宗のことで鎌倉時代に(16…僧名)が開いた宗派です。この時代のこうした一揆の相談は、村のおきてを決めるときと同じように(17…漢字で)という会合を開いて行われおり、下のよういきびしいきまりが決められています。

- 一 寄合に二度欠席した者は罰金を払うこと。 一 村の森で苗木を切った者は罰金を払うこと。
 一 犬を飼ってはならない。 など。

上のきまりで犬を飼ってはならないとあるのは、犬が人に危害をくわえ、(18)などをあらすためと考えられます。また、このようなきびしいきまりがあったのは、村の山林に人々の生活に重要な○(19)に引く水の供給地としてのはたらき。○(20…ひらがな可)などの燃料の供給地としてのはたらき。○(21)や農具をつくるための供給地としてのはたらきがあったためです。

下のことがらをそれぞれが始まった(できた)時代に分けると、(22…下から記号で選ぶ)になります。

味噌	とうふ	醤油	ソース	まんじゅう	パン	うどん	盆踊り	七夕	ひな祭り
せつく	せつぶん	正月の行事	茶の湯	いけぼな	きょうげん	のうがく	れんが	はいく	こそで
1日3食	すいぼくが	水墨画	あぶらえ	油絵	おとぎぞうし(一寸法師など)	竹取物語	門前町		
月3回の定期市	にもうさく	二毛作が西日本に広まる	ぎゅうば	こうさく	牛馬を耕作に利用して草や木の灰を肥料に使う				
		肥料に灰や人糞を使う	水車を使う	祇園祭					

	平安時代に始まったもの	鎌倉時代に始まったもの	室町時代に始まったもの
ア	5つ	3つ	20つ
イ	4つ	4つ	20つ
ウ	5つ	5つ	21つ